

「山形県・酒田市病院統合再編整備基本構想（案）」にかかる意見等について
（県議会、酒田市議会）

1 県議会 ・ ・ 平成 19 年 2 月 20 日(火)～3 月 14 日(水)

- ・ 本構想の策定に当たっての基本的な考え方と、住民の安心できる医療機能をどのように確保・充実するのか。
- ・ 整備基本計画を策定に当たり、統合再編に当たっての根幹を成す、医師の確保、施設整備、財務関係、経営形態に関して、今後どのように観点から検討していくのか。
- ・ 県立日本海病院と市立酒田病院との統合再編で県民の医療要求を保障できるのか。
- ・ 新型救命救急センターを整備することにより、現在の日本海病院の救命救急機能と比べ、どのようなことが充実・強化されていくのか。
- ・ 総合病院では、がんに関する診療機能をどのように強化していくのか。
- ・ 集約化による診療機能の高度化が達成できる反面、患者からみると、「待ち時間が今より増えるのではないか」、「駐車場は今でも満杯」などの不安や心配もあると思うが、どのように対応していくのか。
- ・ 統合再編に向けて、どのように医師を確保していくのか。また、統合再編後の看護師数については現員数と比較してどうなるのか。
- ・ 一つの経営体となることにより、病院への繰出金の考え方がこれまでと大きく変わるのか。また、県と酒田市との負担割合、負担額については、どのように考えていくのか。
- ・ 統合病院の経営主体の形態に関する現在の検討状況はどうか。また、経営形態については、今後どのように決定していくのか。

2 酒田市議会 ・ ・ 平成 19 年 3 月 2 日(金)～3 月 26 日(月)

- ・ 県との協議に臨む上での酒田市としての基本方針、姿勢とはどのようなものか。
- ・ 市民の反応をどう感じているのか。
- ・ 病床数 758 床で本当に足りるのか。国の考え方で毎年病床数が減っている。市民のための統合と言えるのか。財政面を優先させた統合になっていないのか。
- ・ 統合してのよいが自分が入院する時にベッドはあるのか、待ち時間が長くないのかといった不安が市民からでてきているがどうか。
- ・ 日本海病院は 120 床の増、酒田病院は 110 床程度に減ることになる。酒田病院が現在の場所より無くなってしまふ心配があるが、そのような心配はないのか。
- ・ 将来の酒田の医療、病院としての将来図をどのように見ているのか。
- ・ なぜ統合すれば医師の派遣については両大学からバックアップ、それも全面的に受けることができるのか。
- ・ 医師の確保から派遣まで国や県が責任を持つべきではないのか。
- ・ 経営形態の検討状況はどうなっているのか。
- ・ 病院統合再編で、酒田市として、経営形態とトップ人事をどのように主張していくのか。
- ・ 職員組合との話し合いは、どのように進めていくのか。(経営形態について)
- ・ 病院職員の身分保障として、雇用の保障はするといっているが、市としては、身分保障としてはどのように考えているのか。
- ・ 県の職員であれば、他の県立病院への異動も考えられるが、市の医療技術職の方が市の職員として残りたい場合は、その要望に応えられるか。
- ・ 費用負担についてどのような協議をしているのか。
- ・ 累積欠損金をどう処理する考えなのか。今後の日本海病院の増築費用、酒田病院の西棟解体費用、東棟整備費用についての負担はどうか。